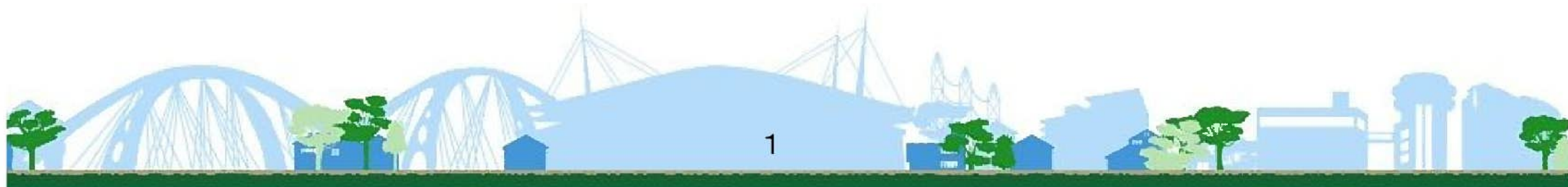


# 令和元年度豊田市子ども会議 提案報告書



2021.08.30 豊田市子ども会議



## • 報告メンバー

(子ども委員) 筋生田 和哉、柴田 真歩、金田 光寧、川崎 詩織、寺本 光希

## • 報告内容

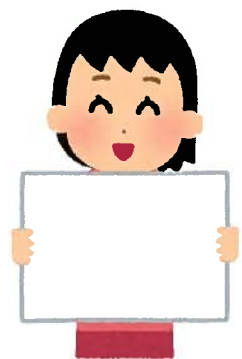
(1) 令和元年度子ども会議 グループ提案

- ① 高齢者事故を減らすためには
- ② 子どもの居場所づくりについて
- ③ いじめに悩む子どもを助けるためには
- ④ とよたの魅力をPRするためには

(2) コロナ禍で思うこと、自分たちにできることについての発表



# (1)令和元年度子ども会議 グループ提案



## グループテーマ： 高齢者事故を減らすためには

(メンバー：筋生田 和哉、金田 光寧、江本 啓一郎、齋藤 陽和、藤谷 香漣)

### 提案の目的(なぜそのテーマに決めたのか)

近年、高齢者事故が問題になっており、子どもが巻き込まれる事故もある。  
このような事故を減らすために、高齢者事故の防止について考えた。

### 提案のために取組んだこと

- ・地域のイベント「松平わくわくフェスタ」や地域カフェにて、免許返納についてのインタビューを実施(計30名程度)。
- ・免許返納促進、事故防止に関するポスターを作成。  
→ 試行として浄水の区民会館、松平地区の回覧板にて回覧。



# グループテーマ： 高齢者事故を減らすためには

## 取組内容

### ・インタビュー

令和元年度 子ども会議  
**まちかどインタビュー**  
令和元年 11月4日 (月)

1. はじめに  
令和元年11月3日(日) 松平地区には「松平わくわくフェスタ」があり、そのイベントにはたくさんの方が来るので10人程にインタビューしました。また、翌日(11月4日)には「地域カフェともえ」という地域カフェがありました。そこで10名程にインタビューしました。

2. インタビュー内容  
各イベント15名程に免許返納、免許返納特典について聞いた。

3. インタビュー結果  
【タクシーについて】

- ・病院とスーパーに行ければいい。
- ・無料券をつづりで配布した方がいい。
- ・割引は、3割～半額(最低でも3割引)くらいがいい。
- ・タクシーの割引が1割引は少ないので、せめて半額。
- ・京都府だと年間1,000支払うと無料券がもらえる(枚数は不明)
- ・大塚府だと高齢者無料。
- ・豊田市も数年間まではタクシー無料券が配布されていた。
- ・障がい者がOKなら高齢者もいいのでは?
- ・車がないと生きていけないのでタクシーが必要。

【バスについて】

- ・病院とスーパーに行ければいい。
- ・刈谷市のバスは、刈谷市は無料になっている。
- ・刈谷市のバスの路線は、病院中心の巡回バスになっている。
- ・豊田駅(豊田駅中心で路線が構成されている)。
- ・地域バス(ともえ号)なんて知らなかった。
- ・地域バスが駅の駅まで来てくれると嬉しい。
- ・予約制ではなく、時刻表形式にすると乗りやすい。
- ・高齢者は、予約するのが面倒くさい⇒代理で各自治体に1人に乗りでもらう。

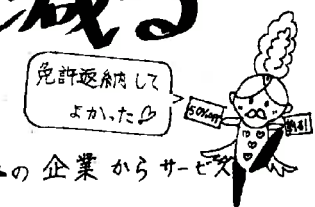
【その他(免許返納について)】

- ・車がないと生きていけない。
- ・ヨイヨイのおじいちゃんでも軽トラを運転していた。
- ・地域バスや免許返納の情報は、団員様よりもコミュニティーセンターや地域カフェ・老人会などの方が情報を拾いやすい。
- ・団員様の文字が小さすぎて読めない!
- ・団員様で困ってくる文章が理解できない。
- ・情報を拾うとしたら、インターネットが交通量で聞く。

### ・ポスター

令和元年 月 日  
豊田市子ども会議

その行動で  
**事故が減る**

<免許返納> 

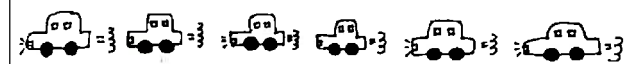

免許返納をすると **34**の企業からサービスが受けられます。タクシー、名鉄バス、飲食店など

<補助金>

踏み間違え装置の補助金制度が令和元年12月よりスタートします。6万円を上限に購入費の9割を補助します。(70歳以上の方)

豊田市役所交通安全課課窓口でお待ちしています。

交通事故死  
**全国ワースト1位 返上を豊市から**



提案内容

# 1 高齢者向けの講習会について （関係課：交通安全防犯課）

★自治区ごとに高齢者向けの運転講習会を実施する

→講習会時にはVRを用いて体感してもらう



- ☞ ・ インタビューにて、「車が使えないと困る」という意見があったので、そのような高齢者も安全に運転ができるようにする。
- ・ 現在、高齢者クラブ等に向けた講習会や、生涯学習出前講座が存在するが、応募があった人に対してのみでなく、より広く周知する必要がある。
- ・ 愛知県警（VRを所有）と連携しVRを使用した講習会にすると、安全・危険な運転のイメージがしやすい。

## 提案内容

# 2 交通機関の割引、特典について （関係課：交通政策課）

## ★高齢者専用バスをつくる

コロナ禍の視点

- ☞・ コロナ禍で特に高齢者がバスを利用しづらくなっていると思うので、密を避け、また速度や車いす対応等高齢者に特化したバスを運行する。

## ★市バスの無料券やタクシーの割引券を配布する

- ☞・ インタビューにて、「割引券や無料券があれば、車ではなく交通機関を使いやすい」との意見があった。交通機関の利用が進めば、免許返納等にもつながる。

## ★市バス利用時にICカードにポイントがつくようにする

- ☞・ “高齢者は利用時にICカードのポイントがつく”というようにすれば、市バスの利用が進む。

提案内容

### 3 移動販売の促進について （関係課：交通政策課）

#### ★中山間地域での移動販売においてんバスを利用する

- ☞ ・ 中山間地域に住む高齢者が遠くまで車で買い物に行かなくてもいいよう、おいでんバスを利用して移動販売を行う。  
（使わなくなったおいでんバスの利用もできる）
- ・ 移動販売をすることで、コロナ禍での人の移動も防ぐことができる。

コロナ禍の視点





## これから自分たちが実行したいこと



### ★“孫効果”で啓発

自分の孫や仲のいい子どもから話をすると伝わりやすいため、子ども委員が自分の祖父母や地域の人に「心配だから運転に気を付けてね、免許返納してね」と伝える。

### ★免許返納促進、事故防止に関するポスターの回覧、展示

既に松平地区等で回覧したポスターをほかの地区でも回覧、展示する。



# グループテーマ：子どもの居場所づくりについて

(メンバー：川崎 詩織、池永 健、渡邊 奏萌)

## 提案の目的(なぜそのテーマに決めたのか)

様々な悩みを抱える子どもがいる中で、家や学校だけでなく、地域など家の外でも子どもの心身のよりどころとなるような環境を整えたいため。

## 提案のために取組んだこと

学校にて、小6クラスの30人を対象に、公園・交流館・放課後児童クラブについてのアンケート調査を実施。



## 提案内容

# 1 公園について

(関係課:公園緑地つかう課、地域支援課)

## ★公園でのイベントを企画する

→準備として公園の掃除を行う

- ☞ ・インタビューにて、「公園でイベントがあれば利用する」という意見があったため、地域で公園のイベントを企画する。準備段階として、みんなで公園を掃除すれば、より愛着が出て利用しやすくなる。

## ★公園内で遊ぶ場所を年齢によって分ける

- ☞ ・年齢により遊ぶ内容が違うため、それぞれが遊びやすいように年齢によって使う場所を分ける。
- ・コロナ禍の視点でも、密を避けることができる。

コロナ禍の視点

## 提案内容

# 2 交流館について

(関係課:市民活躍支援課)

### ★ワークシェアリングにより、月曜日も開館する月をつくる

- ☞ ・ インタビューにて、「月曜日も遊びたいので開けてほしい」という意見があったため、月曜日も開館できるようにする。
- ・ ほかの公共施設と開館日が異なり、人件費もかかるため、“〇月は月曜日も開館”というようにする。その月のみ人員を増やし、ワークシェアリングを行う。

### ★交流館ごとに、学校や地域の行事予定に合わせて開館時間を調整する

- ☞ ・ 子どもや地域の人が利用しやすいよう、予定によって開館時間を調整する。稲武等、既に導入している交流館もあるので、やり方を広める。

## 提案内容

### 3 放課後児童クラブについて

(関係課：次世代育成課)

#### ★支援員募集のため、YouTube等で仕事内容紹介動画を配信する

- ☞ ・ 課題として、支援員不足があると聞いたため、仕事内容のYouTube動画を配信して募集をかける。

#### ★支援員の働き方の自由度を上げる(短時間勤務)

- ☞ ・ 他市(岡山県奈義町等)でも事例のある「仕事コンビニ」のように、好きな時に好きなだけ働ける方法を取り入れる。

#### ★ロボットや遊び道具の導入

- ☞ ・ 利用者の管理をしたり、子どもの話し(遊び)相手となるロボットを導入する。
- ・ 必要な支援員の数が減れば、密も防ぐことができる。

コロナ禍の視点

## これから自分たちが実行したいこと



### ★公園でのイベント企画や掃除に参加してみる

公園に関する提案内容について、自分たちでも掃除等に参加する。



# グループテーマ：いじめに悩む子どもを助けるためには

(メンバー：柴田 真歩、戸田 桃寧、宮田 葵、中川 優太、三好 煌輝)

## 提案の目的(なぜそのテーマに決めたのか)

学校やSNS上でのいじめに悩む子どもが増えていると思うので、そのような子どもを助けたり、いじめをなくすための方法を考えた。

## 提案のために取組んだこと

- ・いじめについての本を読んだ。
- ・子どもの権利相談室で相談についての話を聞いた。
- ・学校にてSNSの利用方法や問題についてのアンケート調査を実施。



## 提案内容

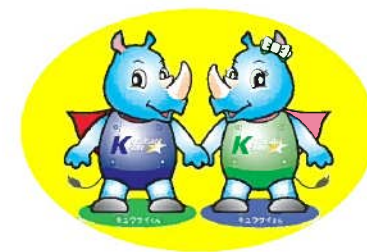
# 1 相談対応について （関係課：青少年相談センター、次世代育成課）

## ★学校での相談のしやすさの向上を図る

- ☞ ・ スクールカウンセラーについて、学校に来ていることが分かりづらい、相談することを担任の先生に言わなければならないということがある。相談しやすくするため、直接予約や相談ができるようにする。

## ★ラインなどのSNSでも相談できるようにする

- ☞ ・ 子どもの権利相談室等の相談対応について、電話はかけづらいのでSNSでも話せるようにする。





## 提案内容

# 2 SNSの利用方法について

(関係課:学校教育課)

## ★タブレットを使い、SNSの使い方についての授業を行う

- ☞ SNSの正しい(人を傷つけない)使い方については、情報モラル教育としてどの学校でも授業を実施するようにしているが、印象に残らなかったりする。実際にタブレットを使用した授業で体感することで、覚えやすくなる。
- 外部講師にリモートで講義をしてもらうこともできる。

コロナ禍の視点

## これから自分たちが実行したいこと

### ★悩んでいる友達がいなか気になる

クラスの中で悩んでいる子がいなか気を付けて、いれば力になれるよう話しかけてみる。

### ★授業でいじめやSNSの使い方について話す

授業で話し合う機会があれば、積極的に参加する。



## グループテーマ： とよたの魅力をもPRするためには

(メンバー：寺本 光希、森 優奈、杉田 一浩、馬場 爽右)



### 提案の目的(なぜそのテーマに決めたのか)

子ども会議を通して、豊田市には車以外でも農作物や環境への配慮などよいところがたくさんあるところを知った。ほかの子どもたちにも知ってほしいと思い、PRする方法を考えた。

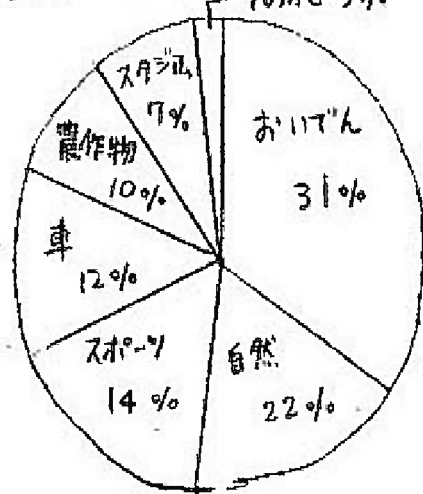
### 提案のために取組んだこと

- ・学校で「豊田市にどのようなイメージを持っているか？」というアンケート調査を実施。  
→学年が上がるごとに「車」というイメージが強くなり、農業や自然環境に関するイメージが弱まっていることが分かった。(次ページ参照)

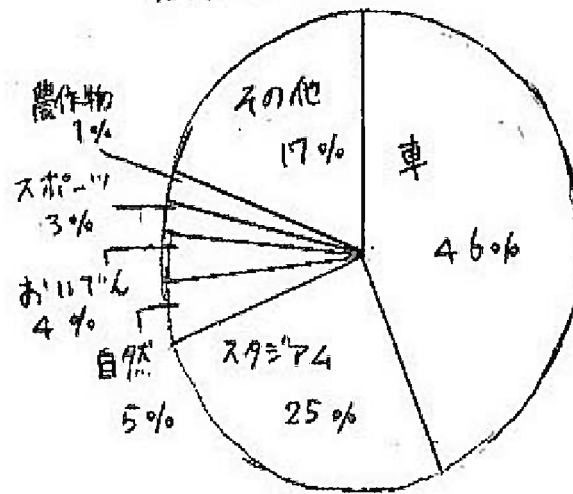
## アンケート結果

Q. 豊田市といえば'どんなイメージ'がありますか？

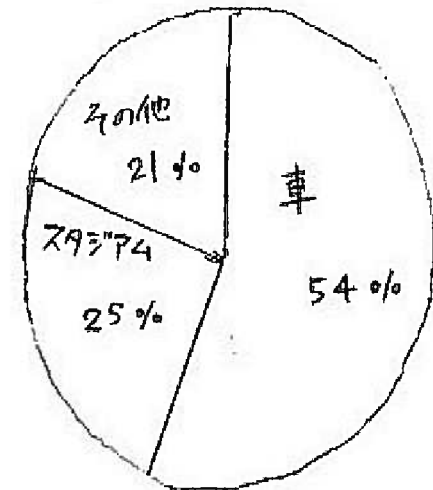
小学校 低学年



小学校 高学年



中学生



## 提案内容

# 1 エコエコチャレンジ・SDGsチャレンジについて

(関係課：環境政策課)

## ★エコエコチャレンジ・SDGsチャレンジの子ども版をつくる

→【日数】30日で達成、【景品】筆記用具、ICカードポイント 等

- ☞ ・ チャレンジ内容が大人と子どもどちらもできるものになっているが、子どもがより取り組みやすくなるよう、期間を短くした子ども版を作成する。
- ・ 景品については、大人は店で使えるポイントだが、子どもは学校や登校で使えるものが良いので、筆記用具やICカードのポイントに変換できるようにする。



## 提案内容

# 2 作品の募集について

(関係課:市民活躍支援課)

## ★とよたの魅力をテーマにした作品を交流館で募集する

→集まったものを駅周辺や交流館等公共施設に展示する

- ☞ ・ 子どもにとよたの魅力について考えてもらうため、  
絵(塗り絵も可)や作文、漫画など好きなことで作品をつくり、  
提出してもらう。取り組みやすいよう、夏休み期間に募集する。
- ・ 集まった作品を市内に展示し、とよたの魅力を広める。

提案内容

### 3 品評会について

(関係課:農政企画課)

#### ★品評会を盛り上げるポスターを作成する

- ☞ 品評会や豊田の農作物について知ってもらうため、現在職員が作っているポスターを子どもが作ったり、子どもの書いた絵を取り入れたりする。

現在のポスター  
(職員作成)

#### ★品評会に合わせて“農作物の食べ比べ会”を開く

- ☞ とよたの農作物のよさについてあまり知らない子どもや大人が農作物の食べ比べを行う。



提案内容

## 4 学校の授業について

(関係課：学校教育課)

### ★「自分の地域のいいところ見つけ」を授業の中で行う

- 👉 ・学校の授業で「自分の地域のいいところ見つけ」を行うことでみんなで考えることができる。





## これから自分たちが実行したいこと

### ★品評会や農作物についてのポスターを作成する

豊田市で有名な農作物について調べ、ポスターを作成する。



### ★市の作品募集に積極的に参加する

農作物や環境など、豊田市の魅力についての作品募集があれば、積極的に参加する。





## (2) コロナ禍で思うこと、 自分たちにできることについて



# コロナ禍における子どもたちの声



## マイナスな出来事

- 授業では、、、  
音楽の授業で歌やリコーダーができず、ずっと鑑賞をしている。
- 部活では、、、  
今年度は大事な試合が中止にはならなかったが、試合に出る子のみ現地へ行ける形だった。中学校最後の大会なので、後輩に見てほしかった。本当は、全員で集合写真を撮りたかった。
- 家では、、、  
休校期間中にダラダラとしてしまい、よくなかった。お父さんの仕事がせっかく休みなのに、どこにも遊びに行けなくて残念だった。



## プラスな出来事

- 合唱コンクールがなくなったが、代わりにボディーパーカッションの大会になった。新鮮で、はやりの曲もできてうれしかった。
- 休校期間中に新しい趣味を見つけた。  
家で野菜を育ててみたら楽しかった。

⇒ コロナ禍が続く中で、ずっと落ち込んでいても仕方がない

## これから将来に向けて前向きに取り組んでいきたいこと

- ・子どもに関わる仕事がしたいので、調べてみたいと思う。
- ・こども園の先生になりたい。
- ・人と関わる仕事がしたい。  
食は人をつなぐと思ったので、農業を家や学校でやり始めた。
- ・まだ将来の夢はないが、部活や子ども会議の活動を頑張っていきたい。
- ・スクールカウンセラーなど、心理に関わる仕事に興味がある。  
コロナ禍で特に悩んでいる人が増えていると思うので、  
心理に関する勉強をしていきたい。



**ありがとうございました。これからも、  
自分たちができることに取り組んでいきたいと思います。**

